



平成29年6月6日（火） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
畜産課	衛生防疫係	高橋・小林	内線 2886
			直通 058-272-8446
			FAX 058-278-2694

当日連絡先：058-201-0530（中央家畜保健衛生所）

「岐阜県中央家畜保健衛生所」の開所について

県と岐阜大学は、平成26年3月に「家畜衛生に係る教育と防疫等の連携に関する協定」を締結し、その連携事業を行う拠点として「中央家畜保健衛生所」の移転整備を進めてきました。移転先は、岐阜大学内であり、国立大学法人の敷地内での家畜保健衛生所の整備は、全国初となります。

このたび移転整備が完了し、下記のとおり開所式及び記念講演を開催します。

記

1 開所式等の概要

(1) 日 時

平成29年6月16日（金） 13:30～16:00

(2) 場 所

中央家畜保健衛生所（岐阜大学内：岐阜市柳戸1-1）

(3) 内 容（予 定）

【開所式（13:30～14:45）】

- ・あいさつ（岐阜県知事、岐阜大学長）
- ・来賓祝辞（岐阜県議会議長、文部科学省高等教育局長、東海農政局長）
- ・学生代表紹介、抱負等語り
- ・テープカット
- ・内覧会（本館棟・解剖棟・防疫資材庫）

【記念講演（14:45～16:00）※本館棟1階 講義実習室1】

- ・県と岐阜大学の連携の概要（10分）
- ・岐阜県での高病原性鳥インフルエンザ発生の概要（15分）
- ・特別講演（50分）
講 師：村上洋介 むらかみようすけ 岐阜大学特任教授
演 題：「グローバル社会の危機～家畜伝染病の今・家畜衛生の展望～」

(4) 出席者

県議会議員、岐阜大学学生、畜産関係団体 ほか 約100名

2 整備等の概要

(1) 経緯

- ・岐阜市と大垣市に分散設置されており、設置から築40年以上と老朽化が激しい「中央家畜保健衛生所」について、岐阜大学との連携協定の一環として、平成26年度からの3か年計画で、大学敷地内への新築移転に係る整備を進めた。

(2) 効果

- ・本施設の開所に伴い、施設の機能強化及び、県と大学が連携して「産業動物獣医師の確保^{*1}」や「家畜防疫体制の強化^{*2}」に取り組む。

※1 インターンシップ実習の受入、高校生向けガイダンス 等

※2 家畜疾病に関する新しい診断法確立、大学付属農場での防疫演習 等

(3) 整備内容

- ・敷地面積：2,972 m²
- ・建築物：本館棟*、解剖棟、公用車庫・防疫資機材倉庫 ほか
 - * 1階（大学の講義・実習室及び県の事務所）、2階（県の検査室）、3階（大学の「家畜衛生地域連携教育研究センター」）
- ・総事業費：約17億円
- ・工期：平成27年6月～平成29年5月

【講師略歴】

■ 国立大学法人岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 特任教授

村上洋介（むらかみ ようすけ）氏

学位：山口大学修士号（農学）取得

北海道大学博士号（獣医学）取得

略歴：1975年 農林省家畜衛生試験場^(※) 採用

1990年 農林水産省家畜衛生試験場^(※) 研究室長

2008年 （独）農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所^(※) 所長

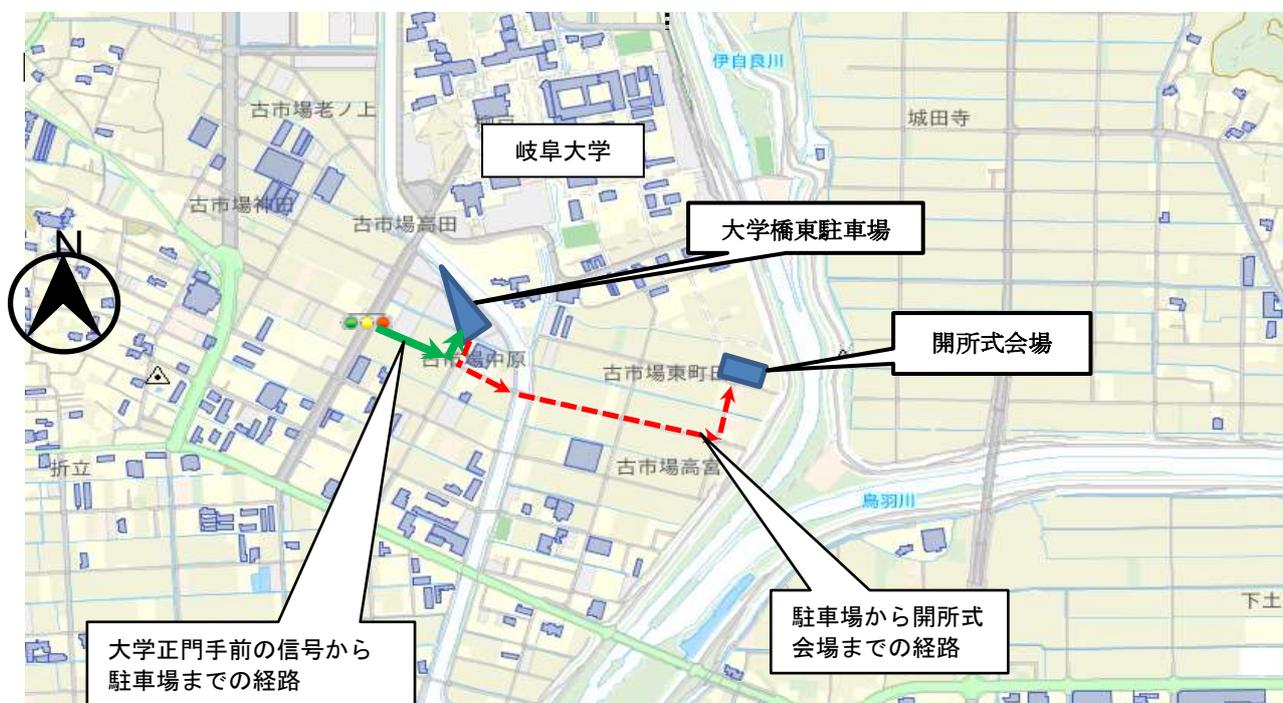
2010年 帝京科学大学生命環境学部教授

2016年 現職

(※)：現 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門



【会場案内図】



＜記者の皆様へ＞

○車でお越しの方は、岐阜大学の「大学橋東駐車場」をご利用ください。

大学正門手前の信号を東進、最初の交差点を北進し、ゲートで停車、「中央家畜保健衛生所開所式の参加」とお伝えいただき、臨時入構許可証を受取、駐車場へご入場ください。臨時入構許可証は車のダッシュボードに掲示いただき、お帰りの際ご返却ください。

○公共交通機関でお越しの方は、岐阜バス「岐阜大学」にて下車ください。

※バス停から駐車場までは、徒歩約5分です。

○駐車場から会場までの移動には、マイクロバスまたはワゴン車を用意しますので、ご利用ください。